

2026年1月13日  
株式会社日本政策金融公庫

## 共立女子高等学校がグランプリを受賞 ～第13回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」開催結果～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、第13回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会を1月11日（日）、東京大学（伊藤謝恩ホール）において開催しました。

当日は、過去最多の参加校数639校・プラン数5,640件の中から選ばれたファイナリスト10組がプレゼンテーションを行い、共立女子高等学校のチーム名「承認欲求 girls」が最優秀賞となるグランプリを獲得しました。

グランプリを受賞したプラン「Admic～承認欲求でコマってるなら、コマにしよう～」は、ユーザーが日記感覚で日々の出来事を入力すると、AIがその内容に基づいてユーザーを主人公にした漫画を生成するスマートフォンアプリ「Admic」を提供するプランです。

グランプリを受賞した「承認欲求 girls」からは、「この大会に向けて何百時間も3人で話し合ってきました。私たち自身を認めてくださったことがすごく嬉しいです」とコメントがありました。

日本公庫は、起業を増やし、活力あふれる日本を創っていくために、これからも次世代を担う若者の創業マインド向上に取り組んでいきます。



【会場の様子】



【グランプリ受賞 承認欲求 girls】



【プレゼンテーションの様子】

(※) なお、最終審査会開催にあたり、高市早苗内閣総理大臣より高校生に向けたメッセージ（手紙）をいただきました。

最終審査会の様子やメッセージは、以下のURLよりご覧いただけます。

最終審査会の様子：<https://www.youtube.com/live/qfF30J98PS4?si=0Qjib7e2rNLjyreK>

（視聴可能期間：2026年2月28日まで）

【第13回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」最終結果】

受賞	学校名 ＜グループ名または個人名＞	プランタイトル	プラン内容
グランプリ	共立女子高等学校 承認欲求 girls 【東京都】	Admic ～承認欲求でコマってるなら、 コマにしよう～	日記感覚で入力した日々の出来事や努力した過程をもとに、自分を主人公にした漫画を生成するスマートフォンアプリを提供するプラン
準グランプリ	市川高等学校 那須 航(個人) 【千葉県】	探究心に、翼を！ 研究マッチング【Re:Search】	「勉強」と「学問」の壁を壊し、高校生と大学研究室をつなぐ研究マッチングサービスを提供するプラン
審査員 特別賞 (発表順)	青森県立名久井農業高等学校 FLORA The Ⅲrd. 【青森県】	時代はバブル！ ～泡農薬で農業の未来を変える 環境ビジネス～	植物のサポニン(天然界面活性剤)を利用した泡状の除草剤を製造販売するプラン
	兵庫県立長田高等学校 黒阪 航平(個人) 【兵庫県】	酵素由来の「タベルレット」 消毒の常識を、今噛み碎く	パイナップル由来の酵素(プロメライン)を使った“食べられる消毒液”を製造販売するプラン
	阿南工業高等専門学校 東京工業高等専門学校 Care Talker AI 【徳島県・東京都】	CareTalker 認知症徘徊ゼロを目指す 寄り添い AI	認知症高齢者の徘徊を未然に防ぐための対話型 AI 見守りシステムを提供するプラン
優秀賞 (発表順)	静岡県立沼津商業高等学校 “CO-KO”Japan 株式会社 【静岡県】	高校生がガイディング ～等身大の放課後体験 アクティビティ～	訪日外国人観光客の中高生年代の子どもを対象に、地元高校生が、同世代目線での日本のリアルな放課後や高校生ライフを案内するサービスを提供するプラン
	N高等学校 岐阜キャンパス 片野 茉奈加(個人) 【岐阜県】	飛騨の朝つながる未来創造 プロジェクト	不登校の子が朝市で販売した商品売上の一部で「恩送り券」を発行 「恩送り券」で過疎地域への人流を生み出し、オーバーツーリズム緩和と不登校の子の復帰支援を行うプラン
	東京学芸大学附属国際中等教育学校 竹端 龍一(個人) 【東京都】	CrossEcho	Z世代が“当事者目線”で国際・社会課題を発信し、同世代と語り合える参加型ニュースプラットフォームを提供・運営するプラン
	京都市立堀川高等学校 佐々木 悠吏(個人) 【京都府】	発達障害グラデーションの方々 を幸せに！ ハーモニートレーニング	医師等による個別リモートトレーニングや動画教材、生活サポートアプリを通じて、発達障害から定型発達の間にいる“グラデーション”の方を支援するサービスを提供するプラン
	沖縄工業高等専門学校 ゆがふあーむ 【沖縄県】	バイオスティミュラントが切り拓く 持続可能な土壌 DX	土壤微生物と植物双方を同時活性化する独自技術を用い、化学肥料に頼らず環境負荷を大幅に軽減する持続可能な農業を実現するプラン